



## 平成30年度 全校生291名で元気にスタート！！

満開の桜のもと入学式・始業式を行い、平成30年度、永盛小学校の教育活動が始まりました。本年も教育目標である「友情を大切に、夢に向かってたくましく生きる児童の育成」に向け、児童一人一人がもつ可能性を信じ、子どもたちに寄り添いながら、28名の全教職員が一丸となって職務にあたります。保護者や地域の皆様から、安心して子どもを任せられることができると信頼していただける学校づくりを目指して参ります。どうぞ1年間よろしくお願い申し上げます。



なお、不定期とはなりますが、学校便り「永遠の杜」を発行して、学校の様子や様々な情報を発信していきたいと思えます。また、ホームページも随時更新して参りますので、併せてよろしくお願い致します。

### 【授業参観・PTA総会の様子】

4月13日(金)今年度1回目の授業参観およびPTA総会に多くの保護者の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。授業でのお子さんの様子はいかがだったでしょうか。確かな学力が身につくよう授業の充実を図って参ります。また、PTA総会では、予定の議案すべてが承認されました。西間木会長のリーダーシップのもと、新たに選出された役員の皆様、すべての会員の皆様のお力添えをいただきながら学校運営にあたりたいと思えます。よろしくお願い致します。



【1年生の様子：初めての参観日、がんばりました。】



【意欲満々です】

【みんなと楽しくゲーム】

【PTA総会の様子】

### 【校長コラム】 ～子どもとの会話を工夫してみませんか～

保護者の皆さんは、帰宅した我が子にどのような質問をしていますか。実は、どのような質問をするかで、子どもの意識に大きな違いが出てくることを専門家が指摘しています。

「学校楽しかった？」という質問はどうでしょう。この質問には具体性がなく、「楽しかった」「楽しくなかった」という紋切型の返答になってしまい会話が続きません。

「今日は、誰と遊んだの？」という質問はどうでしょう。次にどんな遊びをしたかが話題となり、子どもの様子をいろいろと想像することができます。時には友達とケンカした話になるかもしれません。思い通りにならないことにぶつかる経験をしてきたんだと理解することができます。思い通りにならないという経験は、忍耐力をはじめ多くの力を育てます。

また、親がどんな話題に関心を示すかで、子どもは話題を選ぶようにもなります。楽しいことを喜ぶ親の子は、学校で経験した楽しい出来事をいっぱい記憶し、瞳を輝かせて話します。楽しいことを記憶して話す行為はプラス思考という素晴らしい力を育てます。

反対に、先生や友達に冷たく、厳しくされたという時に、いつもより真剣に聞く親だと、子どもは自分の受けた被害の部分だけを話すようになります。親の愛が自分に注がれるのはどんな時かしっかり学習しています。楽しいことがあったにもかかわらず、親が関心を寄せる不幸な話題を学校から持ち帰り、子どもの幸せにはつながりません。

毎日の子どもとの何気ない会話、子どもの成長にうまく結び付けてほしいと願っています。

※ 学校だよりは、ホームページにも載せます。写真等カラーでご覧いただけます。